

学校目標  
自主 感性 共生

杉並区立東原中学校  
令和2年度 6月号



入学おめでとう

## 令和2年度 第72回入学式 式辞

校長 小松 進一

ようやく東原中学校も再開することができました。校庭や正門にある木々の葉も緑色が濃くなってきた季節となり、大変遅くなってしまいましたが、皆様のご入学を心からお祝い申し上げます。

新入生の皆さん、東原中学校へのご入学おめでとうございます。今日は参列していませんが2、3年生の先輩方、そして教職員一同、皆様のご入学を心待ちにしていました。

本来ならば、小学校の校長先生、地域を代表される方々、本校に関わっていただいている皆様方、そして、ご家族の皆様のご臨席を賜り、杉並区立東原中学校第72回入学式を挙行いたしたところでしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、このように縮小して挙行しなければならなかったことに対して、新入生や保護者の皆様には大変辛い思いを抱かせてしまいました。校長として、皆様にお詫び申し上げます。

さて、新入生の皆さん、先ほど、担任の先生から名前を呼ばれ、大きな返事と起立する様子を見ていましたが、とても立派でした。頼もしくさえ感じました。皆さんの後ろで見守っている保護者の皆様も、きっと同じように感じたのではないのでしょうか。もう小学生ではなく、中学生なんだという自覚と決意が感じられました。しかし、当然のことですが不安感や緊張感もありますよね。

皆さんには、それぞれに、東原中学校に入学したらこんなことを頑張るぞという抱負があると思います。勉強のことであったり、部活動であったり、中には、生徒会活動や行事を頑張るという人もいるかも知れません。新たなスタートラインに立ち、何かを始めようとする時、自分の考えを示すことは大事なことです。そして、自分の考えを実行することはもっと大切です。色々なことにチャレンジしてみると、新たな自分を発見したり、仲間と力を合わせる楽しさを味わえたり、充実感を味わうことができます。ところが、思うようにいかないこともあります。苦しいことや辛いことから逃げ出したいことも必ずあるでしょう。そのようなときに、どうすればよいか。苦しいことや辛いことを乗り越えなければなりません。乗り越えることで、大きな自信となり、人間として成長できるのです。そこで、皆さんが、これから3年間東原中学校で学ぶにあたり、自分を成長させるための4つのキーワードを贈りたいと思います。

1点目は「示す」です。先ほど、自分の考えを示すことと言いましたが、端的に言うと、「自分を相手に示す」です。自分の考え、意見、感想、疑問などを、色々な人、相手に示してください。ここからコミュニケーションが始まります。コミュニケーションは、相手に自分を理解してもらう、また、相手を理解する最も重要な行動です。

2点目は「動く」です。動くとは、むやみやたらに動き回ったり、体を動かしたりすることではありません。自分の考えに基づいて、目標をもって行動することです。

3点目は「喜びを分かち合う」です。小さな喜びでもいいのです。ニコッとするような喜びでもいいのです。みんなで喜びを分かち合えるそんな関係をつくってほしいのです。今日の喜びが明日を生きる糧になるからです。喜びは人を笑顔にします。私も皆さんと喜びを分かち合い、笑顔を絶やさないでいきたいと思っています。

4点目は「挑む」です。「挑戦する」と言った方がわかりやすいかも知れません。挑戦する。やってみることで、困難に立ち向かう気持ちです。ちょっぴり勇気を出してやってみる。時には大きな決断を迫られるようなことがあるかも知れません。そんな時、自分の心に「一歩前に」とそっと声をかけてください。

これまで紹介した4つのキーワードは、自分を成長させるためのものです。うまくできたり、何かに悩んだり、自分を振り返るときなどにこのキーワードを思い出してみてください。皆さんの何かの役に立つことを願っています。

そして、もう一つ、皆さんには「見聞を広める」ということを意識してください。少し難しい言葉かも知れませんが、見聞とは「見る」と「聞く」と書きますが、自分の目で見たり、耳で聞いたりすることによって豊富な知識を得ることです。令和2年度の東原中学校では、2学期以降になってしまいますが、各分野の専門知識や経験をもった方々をお招きして、授業や講演会を行う予定です。中学校生活でのあらゆる機会を利用して、見聞を広めてください。さらに、自分自身を見つめ生き方を考えてほしいと思っています。

最後に、東原中学校の教育目標を紹介します。自他の生命を尊び、心身の健康と豊かな人間性を養い、生涯を通して「学びながら自分を伸ばしていく」ための基礎となる力を育成するために、次の目標を設定しています。

1 自主(すすんで学び、自ら考える人になろう。) 2 感性(豊かな心を持ち、たくましく生きる人になろう。) 3 共生(互いを尊重し、共に高め合う人になろう。)

先ほどの4つのキーワードにも関わってきますので、この教育目標も意識しながら学校生活を送ってください。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。中学校3年間はお子様の成長が著しいときです。心身ともに大きく成長し、大人への第一歩を踏み出していきます。新しい時代に生きる新入生が、豊かな心を持ち、社会の一員として、自覚ある行動ができる人として、たくましく成長していけますよう、私たち教職員一同、全力を投じて教育にあたります。子どもたちの健やかな成長と本校教育の発展のために、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

新入生の皆さん、自分という人間を大切に、自分の周りの人たちの幸せを考え、中学生として責任ある行動、そして、成長を願い式辞といたします。

# 歓迎の言葉

第3学年 渡邊 志撞

こんにちは、東原中学校生徒会長の3年、渡邊 志撞です。

本来ならば、僕たち2、3年生の合唱で新入生の皆さんを迎え、東原の歌声を初体験してもらうはずでしたが、入学式に参加することができなくなってしまったため、このような形（VTR上映）で新しく東原の仲間となる皆さんにご挨拶することとなりました。

新入生の皆さん、こんにちは。本日は、ご入学おめでとうございます。

桜の香りを運ぶ風もやわらかくなり、青空も目にまぶしい季節になってきました。

皆さんは、今日新たな一步を踏み出します。今、皆さんは期待と不安でいっぱいになっていることでしょう。2年前、僕も同じことを思っていました。中学校は、小学校にはないことばかりで、「初めて」とつくものがたくさんあります。そんな中、友達はあるのか？勉強と部活の両立はできるのか？宿題の量に追いつけるのか？・・・など、不安の霧が皆さんの心を覆っていることでしょう。

でも、その霧は次第にゆっくりと晴れていきます。だから、心配しなくても大丈夫です。この学校には、皆さんのこれからを支えてくれる人がたくさんいます。個性豊かな先生方、優しくあいさつしてくれる先輩たち、そして何より今皆さんの周りにはいる同級生の仲間たち。これからの3年間、たくさんの思い出を共につくり、たくさんの困難を共に乗り越える同志が今、皆さんの周りにいます。

中学生には、小学生と違って、責任が必要になります。東原は多くの自由が許されているめずらしい学校です。着る服も、個性も。でも、その自由は、自分だけが良ければそれでいい自由とは違います。そんな「自由」を見極める「責任」が必要なのです。それを3年間かけてしっかりと鍛えてください。

新型コロナウイルスの影響で、しばらくは十分な活動ができないかもしれませんが、僕たち2、3年生もできることに精一杯取り組んで、東原の伝統をさらに発展させていきたいと考えています。

僕たちと初めて会うのは、廊下や校庭でになると思います。最高の歌声を届けられなかった分、皆さんに大きな声で挨拶をしていきたいと思うので、よろしくお願いします。

皆さんの3年間が、良いものになることを願っています。

今日は直接聞かせることができなかった東原の伝統のひとつである校歌合唱を、この映像でお届けして歓迎の言葉をしめくりたいと思います。

# 新入生誓いの言葉

新入生代表 山縣 優香

紫陽花の花が雨に映える季節となり、私たち82名は、東原中学校入学の日を迎えることができました。

6年間慣れ親しんだ小学校を卒業し、新しい環境への緊張や不安もありますが、それ以上にこれから始まる学校生活や部活動、勉強などこれまでと違った経験ができることと、先生方や友達との出会いに希望と期待でいっぱいです。

中学校での勉強は小学校のときよりも一段と難しくなると聞いているので、自ら進んで予習・復習に取り組むようにします。部活動では、先生方や先輩方に様々なことを教えていただきながら、同級生の仲間と共に真剣に取り組むがんばりたいと思います。また、小学校の先生から、東原中の生徒の挨拶を見習いましょうと言われたことがあり、実際に見てとても爽やかで気持ちのよい挨拶だなと思ったことがありました。私も多くの人に同じように感じてもらえる挨拶ができる中学生になりたいと思います。

これからの中学校生活では苦しんだり悩んだりすることも多いかもしれませんが、それでも、挑戦することをあきらめずに、一步ずつ前に進み、入学した同級生のみんなと共に楽しく、明るく、元気に東原中学校での時間を過ごしていきたいです。

先生方や学校関係者の方々、上級生の方々、地域の皆様、そして保護者の皆様方、これから始まる私たちの学校生活を見守ってください。そして時には励ましの言葉をかけてください。私たちも誇りある東原中学生になることを誓い入学の言葉といたします。